



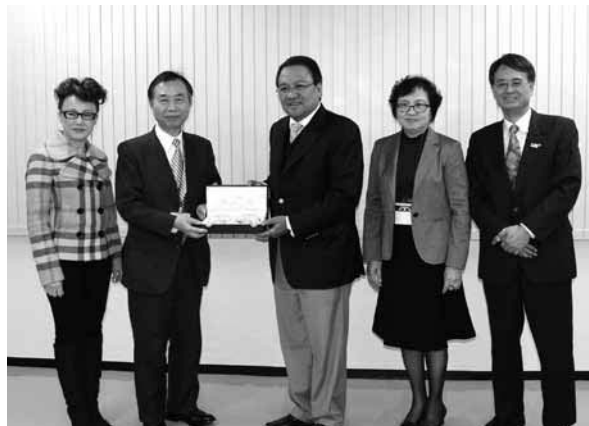
中村理事長と握手するドミニカのエクトル・ドミンゲス駐日大使(左から2人目)



直行便の実現を目指すフィジーの  
イシケリ・マタイトガ駐日大使



チャーター便を計画するフンスエアーの  
プレジヤル・ムンクジャガル会長



JATAと共同プロモーションを展開する  
タワチャイ・アルンイクTAT総裁(右から3人目)

## 要人往来

先月は、菊間会長はじめJATAの幹部が韓国に赴き、旅行業界の要人やソウル市長とも面談され、両国間の観光発展などについて意見交換されました。実り多い訪韓だったようで、日韓相互交流の早期の復活を期待したいものです。

### 旅行者倍増へ観光振興に注力

ドミニカ共和国 1月23日(木)

エクトル・ドミンゲス駐日大使

JATA本部を訪れ、日本とドミニカ共和国の観光振興について中村理事長と懇談。大使は「外国人旅行者数を現在の500万人から、将来的には1000万人に倍増させる計画で、観光振興に力を入れていく方針です。日本とドミニカ共和国の両国でセミナーの開催やFAMツアーを実施できればと考えています」と説明。中村理事長は「JATAを通じてセミナーを企画し、日本の旅行会社との関係を深め、ドミニカ共和国の魅力伝えていただきたい。2014年は日・カリブ交流年であり、近隣各国との協力なども視野に入れたプロモーションも効果的だと思います」と応じました。

### 今年も夏期チャーター便を運航

フンスエアー 1月28日(火)

プレジヤル・ムンクジャガル会長

JATA本部を訪れ、モンゴル／日本間における夏期チャーター便の計画について説明しました。「まだ2年という若い会社ですが、アジア各国へチャーター便を運航しており、昨年は羽田空港や地方空港へも乗り入れ、成功を収めました」と強調。「昨年と同様、今夏もチャーター便を運航する予定で、デイトムでの就航実現に向けて日本の大手旅行会社と協議しています」と説明。中村理事長は「経済発展が目覚ましいモンゴルでは今後のインフラ整備により観光客の増加も見込まれ、夏期チャーター便の運航を通じて日本からの需要が拡大するでしょう」と期待を示しました。

### 直行便再開し日本人旅行者を2万人に

フィジー共和国 2月7日(金)

イシケリ・マタイトガ駐日大使

フィジーへの観光プロモーションについて菊間会長と懇談。同大使は「かつて日本からはハネムーン客など2万人以上の旅行者が来訪しましたが、直行便によるアクセスがなくなった2009年以降は半分以下の7000人ほどで推移しています」と指摘。「将来的には日本からの直行便を実現して、再び需要規模を2万人程度まで拡大することを目指したい」と意欲を示しました。菊間会長は「フィジーは将来的に南太平洋のゲートウェイとなることで、近隣諸国も恩恵を受けて、地域全体の繁栄につながるでしょう。成田からの直行便就航が実現することを期待しています」と応じ、JATAとしても協力していく意向を伝えました。

### JATAと共同プロモーションを展開

タイ国政府観光庁(TAT) 2月14日(金)

タワチャイ・アルンイク総裁

JATA本部を訪れ、日本からの旅行需要回復に向けたプロモーション計画について懇談。同総裁はJATAのサポートに感謝の意を示す一方、昨年は前年比12%増の約150万人を記録した日本人旅行者数が、今年1月は同17%減となったことに触れ、「政情が安定化するタイミングで、JATAと共同プロモーションを展開したい」意向を示しました。中村理事長は「2012年からタイ国現地自由視察体験研修旅行も頻繁に実施して、100人を派遣するという目標も達成しました」と説明。「9月に開催されるツーリズムEXPOジャパンでは、セミナーやビジネスミーティングを積極的に活用してください」と参加を促しました。



⑩ チェコ共和国の正式通貨は、ユーロである。  
これ正しい?